

※ 今週のアウトルック(6/27~7/1)

先週は概ね円安の流れは変わらないものの、レジスタンスラインに阻まれて一時調整局面に入った通貨ペアも多かったようです。

今週も日銀、FRB、ECBなどの要人発言、各国経済指標、米国国債、日本国債の利回りなどに敏感に反応しそうです。

先週のドル円は、水曜日に136.7円まで上昇しましたがその後134円台前半まで後退し金曜日には135円台前半まで回復して、そのまま週末を迎えました。米国国債利回りなどに敏感に反応しているようです。

今週は、再び136.7円の高値ブレイクに向かう可能性がやや高いように思いますが、米国国債利回りや今後の利上げスタンスにかかわる要人発言、経済指標などには十分な注意が必要です。

ドル円の予想レンジは130円から140円です。

先週のユーロ円は、週中に144円台まで上昇しましたが木曜日には141円台前半まで下落し、金曜日には142円台後半まで戻してそのまま週末を迎えました。

今週のユーロ円は、もう一度145円付近のレジスタンスラインに向かう可能性が高いように思いますが、今週ブレイクできる可能性は6割程度と考えています。

ユーロ円の予想レンジは137円から148円です。

ポンド円もやや調整局面に入っています。

168円付近のレジスタンスはやや厚いようで、今後も難航する可能性があります。今週ブレイクできる可能性は3割程度と考えておいた方が良いでしょう。

ポンド円の予想レンジは160円から170円です。

先週金曜日にNYダウが31,000ドル台中盤まで大きく反発しましたが、この流れを今週も引き継げるかどうかは、微妙なラインのように思います。

NYダウの上昇、下降が為替に与える影響について、場面により解釈が大きく変わります。このあたりについても注意が必要なように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。